



2013-2014 年度
国際ロータリーのテーマ

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2013-2014 Rotary International District 2760

11月



ロータリー財団の父
アーチ・C・クランプ

ガバナーメッセージ

ガバナー 田中 正規

ロータリー財団月間によせて

さわやかな秋の紅葉の季節になっています。会長、幹事、会員の皆様におかれては、ご健勝のうちにお過ごしのことと存じます。ガバナーとしての責務である公式訪問も、前もっての各分区のガバナー補佐さんの精力的なご努力と、各クラブの皆様の真摯で温かいご協力、ご歓待で無事全日程を終えることができました。私がお示唆する以上の内容を私に与えていただき、すばらしい体験でした。本当にありがとうございました。

さて、今月はロータリー財団月間です。1917年アーチCクランプ RI 会長が「世界で良いことをするため」に基金の設置を提案。この基金に寄せられた最初の寄付金はわずか26ドル50セントでした。後に設立にいたったのが国際ロータリーを支えるロータリー財団です。2017年で創立100周年になります。近年財団の未来の夢計画に沿って対外的な奉仕活動の革命的とも呼ばれるほどの変化を起こす可能性があります。その目標達成のために、更なる寄付と奉仕活動を地区やクラブに求められています。結果として、そのためには RI と財団の関係の明確な説明と、未来の夢計画の説明や、財団の人的補助金プログラムを説明し、各クラブでの奉仕活動に役立てる必要があります。

RI と R 財団の関係を「組織」では、RI は社団法人で、会員は各クラブ、理事は17名。R 財団は財団法人で、会員は RI のみ、管理委員（理事）は RI の理事会で選任、管理委員は15名、うち4名は RI の元会長。「会計」は両者は独立の会計を持ちます。R 財団の事務総長は、RI の事務総長を兼ねます。ですから組織上は法的にまったく異なりますが、RI が R 財団を間接的にコントロールできるような組織形態です。

RI と R 財団の関係を「活動」についてみますと、RI は奉仕活動で、主に5大奉仕（クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕）であります。R 財団は補助金活動で（地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント）で、3種類の活動（補助金プロジェクト、奨学金、VTT）と6つの重点分野であります。結局、違いは財源の違いに過ぎません。

そのため「R 財団はロータリアンのためにある」（奉仕先はノン・ロータリー）ということになると思います。



ロータリー財団月間によせて

地区ロータリー財団委員会 委員長 鈴木 文勝

11月はロータリー財団月間となっておりますので一言ご挨拶を申し上げます。地区内各クラブの皆さまには常日頃よりロータリー財団の活動に大変ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。3年間のパイロット期間を終えて、本年度より、未来の夢（新しい補助金制度）が世界同時スタートとなりました。皆様から頂いた大切なご寄付は、新しいシェアシステムにより補助金プロジェクトの利用がし易くなりました事をご承知の通りです。地区補助金プロジェクトは各クラブさまから地区に直接申請をして頂き、財団本部と地区の間は全てのプロジェクトを一括してオンライン上で申請を致します。一方、グローバル補助金を利用するプロジェクトは、各々のプロジェクト毎に財団本部に申請を致します。いずれの補助金プロジェクトも皆様にとってより充実されたプロジェクトになるように当委員会はお手伝いをさせていただきますのでなんなりとご相談下さい。

今年9月より国際ロータリーのホームページが全面的にリニューアルされました。今までのサイトを使い慣れていた皆さまには戸惑いもあるかと存じますが、多くのロータリアンからの要望に応えたウェブサイトです。タブレット端末やスマートフォンにも対応していますので、使い慣れてくれば利用価値の高い物となると存じます。各クラブで奉仕プロジェクトの取組みを検討されているときは、様々な情報がウェブサイトに乗っています。是非ともご活用ください。

地区ロータリー財団委員会も今年度が始まってから4ヶ月を経て参りました。補助金委員会からは、地区内52クラブから地区補助金プロジェクトの申請を頂いておりまして、すでに活動を終えられているクラブもあると連絡を受けています。プロジェクト進行中のクラブさまも含めて積極的な活動に敬意を表します。そして今年度の特徴は、グローバル補助金プロジェクトの申請承認が降りているクラブさんや申請進行中のクラブさんが多くなって来ていることです。大変喜ばしい事だと思います。今後、様々な人道的奉仕プロジェクトの検討が出来る様なリソースをお伝えすることにも取り組んで参りたいと存じます。

「世界で良いことをしよう！」の実現は皆様からのご寄付で成り立っています。前年度までは「あなたも毎年100ドルを」がキャッチフレーズでしたが、このキャッチフレーズは廃止になり「Every Rotarian Every Year」で統一されました。2017年にはロータリー財団が創立100周年を迎えます。世界でさらに有数な奉仕団体として認知されますように、財務基盤を強固なものにすると共に、各ロータリークラブの皆様が国際的な舞台やそれぞれの地域で輝いて活躍して頂けますようにお手伝いをさせていただきます。

11月中に財団の卓話を快く受入れて頂いたクラブさまには、大変お世話になりますがよろしくお願い申し上げます。

ロータリー財団月間によせて



資金管理委員会 委員長 豊島 徳三

資金管理委員会の責務は、地区内クラブを通じて会員より拠出された資金を基本に、ロータリー財団の主旨に適したプロジェクトを各クラブが申請し、認可を得た案件に対して、「MEMORANDUM OF UNDERSTANDING」略して「M.O.U」と称し、二種類があり、

- ①財団と地区との間に交わすもの
- ②地区とクラブとの間に交わすもの

法的な同意に基づき、活動が申請通りに実行され、資金の不正使用や、不適切な管理なき様確認することにある。

本年度においては、既に9件が実行され、その中、5件は最終レポート提出に及んでいる。全てはロータリアンとしての信頼の上にある。特に第2760地区のロータリー財団に携わっている会員の献身的にして熱情溢る活動は、目を瞠る思いである。敢えて申さばそれが故にロータリー有ってのロータリー財団という哲学も心に銘記すべきである。



資金推進委員会 委員長 中林 正人

資金推進委員会は年次基金・恒久基金・メジャードナー（旧大口寄付）・ロータリーカードと財団のすべての寄付を担当する委員会です。「世界でよいことをしよう」を实践する為には基金（寄付）が必要なことはロータリアンの皆様も十分御理解頂いていると思います。今年度の当地区R財団の目標は、年次寄付一人当たり150ドル、ベネファクター1クラブ1人、メジャードナーは地区で5人と昨年度と同じです。R

カードに付きましてもことあるごとをお願いしていますが、8月末の保有数は255枚で地区会員数の5.35%です。カード保有0クラブが未だ8クラブ有ります、「もうカードは要らない。」という声も聞きますが、今一度RCカードをお持ちになって頂き、月一度、年一度でも利用されることをお願いします。一昨年よりR財団への寄付は所得税の控除になることもご承知と思います、何かの記念日・区切りの年に財団への寄付を思い出して下さい。国際ロータリーのロータリー財団は、ロータリアンみんなの財団です。

過去3年の寄付状況	一人当たり年次寄付	寄付総額
2010/2011	144.61ドル	898,728ドル
2011/2012	138.41ドル	1,028,301ドル
2012/2013	158.32ドル	966,500ドル



補助金委員会 委員長 櫻井 繁

平素は地区ロータリー財団活動にご理解ご協力を賜り有り難うございます。3年間のパイロット期間を終え、本年度より世界一斉に「未来の夢計画」が始まりました。

田中年度の補助金の財源は3年前の田嶋ガバナー年度の年次寄付と恒久基金の運用益732,768\$が地区活動資金と国際活動資金として活用されます。本年度は地区内52クラブが地区補助金事業を活用、13年11月現在1クラブがグローバル補助金で

事業を展開中、4クラブが申請手続き中です。

「世界でよいことをしよう」の財団の標語の元、様々なRCの社会奉仕事業が地域や世界の様々な場所で行われております。

本年度より地区補助金申請ルールが下記のように一部改訂されましたのでご案内致します。

- ①地区補助金申請期間の変更 従来は2月の1ヶ月のみ受付を11月～2月までの4ヶ月間に拡大しました。
- ②地区補助金最終報告を事業終了後2ヶ月以内に提出して頂くことの徹底と様式4の財務報告書の書式を改訂致しました。
- ③地区から財団本部への最終報告書提出期限が5月末日必着になった為当地区での補助金事業終了日を3月末日に致しました。ご理解ご協力下さい。

本年度も皆様のクラブのお役に立てる補助金委員会であり続ける様努力致します。何なりとお声を掛けて下さい。

ロータリー財団月間によせて

**職業研修チーム (VTT) 委員会 委員長 福田 哲三**

過去3年間「未来の夢計画」パイロット地区として、グローバル補助金を使って医療の専門家研修チームをアメリカ(5890地区)とオーストラリア(9600地区)、カナダ(7070地区)に派遣し、さらに昨年はカナダ(7070地区)の研修チームの受入れも行いました。3年間ともグローバル補助金でVTTプロジェクトを成功させたのは日本では当地区だけです。

今年はフィリピン(3780地区)とのVTTプロジェクトを計画しています。グローバル補助金の審査において「地域のニーズ」や「持続可能性」、「成果評価」が重要視される中、日本のロータリーの国際貢献の指針としてよりアジア諸国への貢献が求められています。そこで今年は名古屋市立大学病院の竹山教授のご協力を得て、マニラ・ケソン市内の病院において実際に腹腔鏡手術を行い、地元の医療関係者に日本の高度な技術を学んでもらうことにしました。今後もVTT委員会ではグローバル補助金を使った職業研修プログラムを通して、相手国地区との相互理解と技術協力を続けていきたいと思っています。

**奨学基金・学友・平和フェローシップ委員会 委員長 小島 哲夫**

ロータリー会員の皆様には、ロータリー財団へのご支援並びに御協力を頂き感謝申し上げます。皆様の貴重な寄付金により、多くの優秀な学生達がロータリー財団奨学生として海外の大学院に留学し、より高度な勉強や研究をさせて頂く機会をへて、その後は全世界で素晴らしい活動をしています。今後も多くの人材を育成することにより、財団標語「世界で良いことをしよう」を実践していきます。また、世界平和フェローシップにつきましては現在1名の申請中で、承認の通知が届くのを心待ちにしている状況です。今後も、奨学生終了者の中から新しいフェローを生み出す為に終了後のフォローを滞りなく行っていきます。財団学友会につきましては、財団プログラムを終了した人達自身が友好や情報交換の場として運営していく事を本意としていますが、海外で活動中の人や、自身の職業が忙しく参加できないなど運営の難しい面も多々あります。これからの策としては、ソーシャルメディアを利用した情報交換の方法も早急に検討していきます。今後ともご支援をよろしくお願い致します。

**ポリオ・プラス委員会 委員長 岩崎 光記**

わが第2760地区は、2010年、2011年、2013年の3回に亘り、インドにおけるポリオワクチン投与活動に参加してきました。しかし、インドは、ここ3年間、ポリオの発症が見られず、ポリオ常在国の指定から外されることになりました。現在、ポリオ常在国に指定されているのは、アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3か国だけです。常在国以外でもポリオの発症が見られる例もあり、特に今年は、ソマリアで大量発症しています。

かかる情勢のもとで、発症ゼロが続くインドでのポリオワクチン投与活動の意義に疑問の声もあり、今年度はインドにおけるポリオワクチン投与活動への参加を見送ることになりました。その代わり、日本国内において、ポリオ撲滅運動を市民にも広く伝える活動をすべきではないか、と考えました。

ロータリー財団は、2017年に創立100周年を迎えます。6つのビジョンの第1が「ポリオ撲滅」です。ロータリーの努力と成果を広報し、市民を巻き込んだ運動にすることが望まれます。11月2日から4日まで、名古屋・栄の久屋公園で開催されるWFFは、その絶好の機会だと思います。



世界インターアクト週間によせて

地区インターアクト委員会 委員長 川村 荒治

R I 理事会はロータリー・クラブとインターアクト・クラブに11月5日を含む1週間を「世界インターアクト週間」（月曜日から日曜日）として順守することを奨励しています。RCとIACに、国際規模の顕著な共通活動に参加することを目的と致しております。

インターアクトは皆様もご承知おきの通り、12歳から18歳までの青少年が対象で、日本においては学年制の枠により高校生を対象に活動を致しております。青少年健全育成の下、リーダーシップの育成、異文化交流・地域貢献等様々な活動をされて、当地区におきましても15のクラブが活動致しております。

2760地区では、和合ロータリークラブ発案の下11月2・3・4日に「ワールドフード・ふれ愛フェスタ」が開催され、最終日4日はまさしく、「世界インターアクト週間」の初日月曜日にあたります。地区内においてクラブの垣根を越えたロータリーとインターアクトが活動を共にすることは初めてであり、R Iの奉仕の理念に基づいた活動を繰り広げる場面とロータリーとインターアクトの活動を広報PRする場面となります。このような動きが広まり、奉仕の理想を求める大きな輪が作られる機会になればと願っております。

313号

文庫通信

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号 黒龍芝公園ビル3階
TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー最近の文献より

- ◎「われらは地球の相乗り客」 ジョージ・ミーンズ 1970 1p (D.365 月信)
- ◎「どこに差があるか？」 ジェームズ・コンウェイ 1970 1p (D.365 月信)
- ◎「ロータリーの魅力は童心と微笑」 塚本義隆 1970 1p (D.365 月信)
- ◎「ホームクラブへ出席がなぜ大切」 塚本義隆 1970 1p (D.365 月信)
- ◎「ロータリーの目的は4つある？」 本田博己 2013 2p (D.2840 月信)
- ◎「『奉仕の理想』ってどういう意味？ そして、『超我の奉仕』とはどういう関係？」 本田博己 2013 4p (D.2840 月信)
- ◎「職業奉仕とロータリーの魅力」 大迫三郎 2013 2p (D.2730 月信)
- ◎「会員増強月間」 沖田哲義 2013 1p (D.2710 月信)
- ◎「幹事心得10箇条」 岡村泰岳 2013 1p (D.2720 地区協議会プログラム)
- ◎「ロータリー徽章に隠された秘密」 山本正治 2013 2p (ロータリーこぼれ話)
- ◎「国際貢献と二つの奉仕理念」 石井良昌 [2013] 9p (2680 地区研修セミナー講演集)

[上記申込先：ロータリー文庫]

「ロータリーの友」編集長 二神 典子氏 & 田中正規ガバナー対談

10月4日（金）名鉄グランドホテルにて、第1回地区内広報委員長会議が開催されました。会に先だって、二神典子氏と田中正規ガバナーの対談が行われました。



●会員増強について

田中G 今年度のRI会長であるロン・バートン氏の強調事項にも会員増強があり、私のガバナー方針にも入っています。増強努力をしなければ、会員は少しずつ減っていきます。絶えず増強をしていかなければいけません。増強とは数を増やすことだけでなく、会員一人一人の能力を上げることだと思っています。自分たちが意識を向上させ、魅力ある会員となれば、会員で無い人もロータリーに入りたいと思ってくれると思います。

最近増えているEクラブは忙しく、時間の制約がある人にとってはいい選択肢だと思う。色々な人が集まれる機会を作ることは大事です。時代の流れから見てwebで例会を行うのもありだと思う。Eクラブでも普通のクラブでも、ロータリーに入りたい人を見つけるのが私達の使命です。

二神 ロータリーの入会に事業主である必要はありません。長く職業奉仕をしてきた方と接することで若い人達を修行させるという意味も



二神氏と「ロータリーの友」編集委員会地区代表委員 宮崎氏

あります。また、Eクラブのターゲットは若い人だけではありません。高齢で例会に参加できない方がロータリーを続ける手段にもなっています。ロータリーのいいところは多様性。その多様性が一つ加わったと考えればよいのではないのでしょうか？

あの人がいるならロータリーに入りたい、一緒に参加してみたいと思

わせる人やクラブは多くある。会員増強というのは、ただ入ってもらうのではなく、そういったところが一つのポイントだと思います。



二神 典子氏プロフィール

- 1982年 3月 青山学院大学法学部卒業
- 1996年 9月 法政大学大学院修了
- 1984年 4月 ロータリーの友事務所入社
- 2002年 7月 ロータリーの友編集長（現職）
- 2009年11月 東京築地ロータリークラブ入会
- 2011-14年 ロータリー公共イメージ・コーディネーター



田中ガバナーと榎原地区幹事

●WFFについて

二神 企画を聞いた段階から、とても素晴らしい活動だと感じました。他では見られないほど、最初から計画がしっかりとしていました。一つのプロジェクトが有り、その一環としてロータリーの公共イメージを高めようとしているのがとても良いと思います。参加して頂いた人は少しロータリーが近くなる。そのタイミングでロータリーの活動を知って頂く機会を作るのがロータリーの公共イメージの向上には一番効果的な方法だと思っています。

田中G いい機会なので他の地区から是非来て欲しいと思います。

クラブ米山奨学委員長会議・米山奨学生・学友会総会

地区米山奨学委員会 委員長 伊藤 敦夫

クラブ米山委員長会議・米山奨学生・学友会（愛知）総会を2013年9月12日（木）にキャッスルプラザにおいて開催。

第一部は田中ガバナー、福田米山記念奨学会理事、川原ガバナー補佐、榊原地区幹事を始め、各クラブの会長、幹事、委員長、カウンセラーに参加いただき、特別講師として米山記念奨学会アドバイザーの坂下康弘氏による米山について、パワーポイントを使い、米山奨学事業の現状と将来への理解促進に努めた。

第二部は米山学友会（愛知）の17回目の総会に奨学生、学友、大学指導教員の先生方も加わり、総勢で160名において学友会総会開催、第三部は、各グループにおいて懇話会、第四部は和やかな雰囲気の中、杯を交わしながら親睦を図った。

米山奨学事業の価値はどんな奨学生を採用したか、どのように育てたか、どのように育ってくれたか、将来を見据えた人材育成が最大の事業目的であります。創設から60年、これからも継続していくために皆様のご支援を宜しくお願いいたします。



田中ガバナー



林学友会会長



奨学生と指導教員

2013～2014年度 交換学生交流会報告

青少年交換委員会 横井 知代

日 時：9月28日（土）・29日（日）
 主催 R I：D 2630 地区 郡上長良川 RC
 後援 R I：D 2630 地区
 参 加 者：国際奉仕青少年奉仕委員会・
 地区青少年交換委員会
 2630 地区・2760 地区の計 63 名



【白鳥踊りを通しての交流】を目的とした今回の活動は ROTEX・交換学生・派遣候補生 etc 新世代のロータリーファミリーの各個を結びつける仕組みを有効的に構築された深い内容で、我々ロータリアンが常に導き、教示する姿勢を堅持できたものと確信いたします。

初日の交流会は歓迎挨拶に始まり、ロータリアン自己紹介・代表学生スピーチ・学生全員の自己紹介と滞りなく進み、この後踊りの練習を保存会の方々からご指導頂きました。3曲目は想像以上に UP テンポな曲でしたが、学生達は戸惑いながらも意気揚々と取り組んでいました。練習後はロータリアンのご夫人方に着付けのご協力を頂き、学生全員が浴衣姿で例会に参加しました。代表学生の挨拶では、サポートを遂行するにあたり、ROTEX 並びに帰国学生の通訳協力を得て和やかに進められました。例会後はいよいよ白鳥踊り会場へ移動し、21時半まで存分に踊りを楽しみました。翌日も頓挫することなく、どの学生も澁刺と朝の挨拶を交わし、阿弥陀ヶ滝へ出向き、白山神社で参拝をし、白山文化博物館で円空作の『阿弥陀 11 面観音立像』のご開帳を偶然見学でき、貴重な体験ができました。

日本の文化にふれた 2 日間の様子が沢山の写真に残されていますが、どの写真を見ても何の蟠りもなく、皆が満面の笑顔で楽しんでいる事が伝わってきますし、更には、今回の貴重な体験の感想がメールで届いております。感謝の言葉と、喜びの声と、それぞれの思いが綴られています。

この確かな気持ちが今後も等閑にならない事を願うばかりです。

ロータリーの理念が深まる行事となりました。



白鳥踊りの練習▶

白鳥踊り・いざコンテスト会場へ▼



▲長滝白山神社・若宮宮司とともに



地域社会にロータリー活動のPRを

地区総務委員会 高須 勻

今年度地区総務委員会の一員として、勉強させて頂くことになりました。

新設された総務委員会の活動内容と役割は地区のロータリー活動をする上において、大変重要なかじ取りを担う委員会だと思いました。

昨今、会員の増強と会員の退会防止が大きなテーマとなり、年間行事の中でも最重点目標に掲げられているのが現状ではないかと思われます。少子高齢化を食い止めることができない社会現象の中、ロータリアンとして、今何をしたらよいのか、どう対処していったらよいのか、大きな責務を感じます。

今年度のRI戦略計画の優先項目の一つに「公共のイメージと認識度の向上」があります。つまりロータリーのブランド強化です。

ロータリークラブは地域社会とともにあると言われているように「私はロータリアンです」と一般社会の人に話しかけても、そもそもどんな団体で何を活動しておるのか、知らない人が多いと思うのです。それを地域の人に理解して頂く為に私達各ロータリアンは分かり易く、活動内容、目標等伝えることにより、ロータリーのブランド強化、ひいては会員増強につながると考えます。

今後ともよろしくご指導下さる様お願いします。

私事ですが、8月に伊勢神宮の式年遷宮の行事で内宮の「お白石持行事」に参加させて頂きました。20年に一度の遷宮に機会を頂き感謝しています。今年はこれから先にいいことがあるかも。

日展（第四科 陶芸）、今年も入選しました。

二度目です。次は、特選を目指します。

茶碗屋を開店し、作品の高価押し売りは、いたしませんので、

今まで通り、安心をして、お付き合いの程を・・・。

名古屋和合ロータリークラブ

会長 鷲塚 貞 長

き こう
輝 光

霊峰が朝日に映える
自然の織りなす造形の変化は、
陽光を受け、輝き、
深奥なる情景を演出する。



ガバナー公式訪問 ①

開催日 2013年9月12日(木) **報告者** 豊田RC幹事 野口 明生

参加クラブ 豊田RC (ホスト)・豊田東RC・豊田中RC

平成25年9月12日(木)、豊田RCをホストとして豊田東RC、豊田中RCとの合同例会が田中正規ガバナー、榊原勝俊地区幹事をお迎えして開催されました。

例会前の会長幹事懇談会では各クラブの会長方針や活動計画、現在の課題などをお聞きいただき、田中ガバナーよりご意見や適切なアドバイスをいただきました。

例会におきましてはロータリーが108年間、現在に至る発展の過程で5つの中核的価値観（奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ）を育んできた事。そして今年度のRI会長が強調されている「会員の増強、ロータリー財団を通じた人道的奉仕、ロータリーファミリーを通じたネットワークの充実」の三点、これらを踏まえて地区方針である「会員の意識向上、クラブのパワーアップ、地区の改革、会員増強」など、キャッチフレーズの「磨いて輝こう」のもと、本年度の進むべき方向をご示唆いただきました。

和やかな雰囲気のうちにあっという間に終了した例会でした。

田中ガバナー、榊原地区幹事のご来訪に感謝申し上げますと共に、ますますのご活躍を心より祈念し報告とさせていただきます。



開催日 2013年9月13日(金)

報告者 常滑RC会長 村田 聡

参加クラブ 常滑RC (ホスト)・半田RC・半田南RC・知多RC

平成25年9月13日、田中正規ガバナー、榊原勝俊地区幹事をお迎えし、半田RC、半田南RC、知多RCと常滑RCの合同で、ガバナー公式訪問を行われました。

例会に先立って開かれた、田中ガバナーと会長幹事との懇談会では、各クラブから

の近況報告に続いて、ロータリーの素朴な疑問点から活動の本質的・精神的な質問も飛び出しました。田中ガバナーからは単純かつ明快にお答えを賜り、楽しくも有意義な時間を過ごすことができました。

例会では、田中ガバナー自らがパワーポイントを駆使しての卓話をいただきました。ポールハリスの人となりから、ロータリー創設の経緯、全世界への友情の輪の広がりなど…。本来メンバーならだれでも知っていなければならないことなのに、実はあまり認識されていないロータリーの歴史に始まって、国際ロータリーのテーマ解説から当地区ガバナー方針の「磨いて輝こう」へと繋がる一連のスローガンの持つ意味・意義を熱く、また興味深くお話をされました。

シドニーでの国際大会への参加のお声かけもいただき、あっという間に合同例会は終了のゴングに到達してしまいました。充実したひと時をありがとうございました。



ガバナー公式訪問 ②

開催日 2013年9月17日(火) **報告者** 名古屋千種RC会長 萩原 喜代子

参加クラブ 名古屋千種RC (ホスト)・名古屋東RC・名古屋昭和RC

田中ガバナー、榊原地区幹事をお迎えし名古屋東RC、名古屋昭和RC、名古屋千種RC (ホスト) 3クラブ合同ガバナー公式訪問例会を開催させて頂きました。例会に先立ち田中ガバナー、榊原地区幹事、3クラブの会長・幹事懇談会が田中ガバナーのお人柄あふれるご挨拶から始まり、各クラブより活動状況そして方針などをお話し致しました。それに対して田中ガバナーからの的確なアドバイスや励ましのお言葉を頂きまして今後の指針とさせて頂くこと多々ございました。その後多くのメンバーの皆さまの拍手の中田中ガバナーのご入場で合同例会が始まり、DVDの映像によって「ガバナーご講話」がございました。「ロータリーの創立」について、解りやすいご説明を頂き新入会員様の中には納得した笑顔の方をお見かけ致しました。そして本年度RIテーマ「ロータリーを実践しみんな豊かな人生を」の熱のこもったお話ぶりに感動致しました。また本年度ガバナー方針～磨いて輝こう～を田中ガバナーが実践しておられるお姿を拝見致しまして我々も少しでも磨いて輝きたく存じます。素晴らしい合同例会になりました。田中ガバナー、榊原地区幹事そしてご臨席の皆様本当にありがとうございました。



開催日 2013年9月18日(水) **報告者** 名古屋名駅RC会長

参加クラブ 名古屋名駅RC (ホスト)・名古屋西RC

「田中ガバナーの方針を率先垂範していこう」の心意気で、田中正規ガバナーと榊原勝俊地区幹事をお迎えして、名古屋西と名古屋名駅2RC合同でガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会で、両クラブ会長の挨拶と謝辞にて、会長幹事懇談会の報告があり、名駅神野重行会長から、田中ガバナーより「磨いて輝こう」のガバナー方針と、会員の意識向上、クラブのパワーアップ、地区の改革、会員増強という地区方針を各クラブ会員と一緒に力を合わせて実行しようと呼び頂いたことについて、名駅も自ら研鑽に努めようというクラブ方針で、クラブ設立の精神、ロータリーの基本理念に立ち返って活動する1年とすることを目指し、伝統ある親クラブ西RCと共に、田中ガバナーの決意を地区メンバー全員で実行に移すべく、まずはここに集う2クラブのメンバーが率先垂範していきたいものだとの思いが語られました。

ガバナーの講話では、ロータリーの歴史から、RIの戦略計画、地区方針まで熱い言葉で語られ、ロータリアンとして何をすべきかを改めて考えさせられる講話でした。

最後に、西RC林 芳行会長から、会員増強、地区への出向、改革への賛同、マルチプルPHへの協力の3点について努力するとの決意と謝辞を述べられ、例会を締められました。大変充実した楽しい学びの合同例会となり有難うございました。



ガバナー公式訪問 ③

開催日 2013年9月19日(木) **報告者** 豊橋RC幹事 松坂 良太

参加クラブ 豊橋RC (ホスト)・蒲郡RC

9月19日(木)にホテルアークリッシュ豊橋において、豊橋RC・蒲郡RCの合同例会として「ガバナー公式訪問」が行われました。



例会に先立ち、田中ガバナー、榊原地区幹事、両クラブ会長・幹事、にて懇談会が行われ、両クラブの現状報告に対して、田中ガバナーからアドバイス・ご指導をいただきました。特に本年度60周年を迎える蒲郡RCの記念行事に対しては、田中ガバナー所属・西尾RCの親クラブということもありお話が弾みました。

例会では、本年度のRIテーマ「ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES」について「ロータリーに積極的に参加し、自分と周りを磨き上げ輝かしい人生に変えていこう」と理解され、地区の方針を、会員の意識向上、クラブのパワーアップ、地区の改革、会員増強とし、キャッチフレーズを「磨いて輝こう」とされた旨お話いただきました。

また、各クラブとしては5年先10年先のクラブ運営についてしっかり検討する必要があること、そのためには、継続的にリーダーを育成することが大切であると解説され、更に会員増強については新会員の入会促進ばかりでなく、現会員の健康維持・退会防止に配慮する必要性についてお考えを熱く語られました。

両クラブ会員にとって大変有意義な例会となりましたことに感謝申し上げます。

開催日 2013年9月24日(火) **報告者** 岩倉RC会長 檜木 治幸

参加クラブ 岩倉RC (ホスト)・犬山RC・小牧RC・江南RC

平成25年9月24日(火)、田中正規ガバナー、榊原勝俊地区幹事をお迎えして、犬山ホテルにて、犬山RC・江南RC・小牧RC・岩倉RC、4RC合同でのガバナー公式訪問を開催いたしました。



例会に先立ち行われたガバナーを囲む会長幹事会では、まず各クラブから事業計画など現況報告が行われ、それらに対してガバナーからのご意見・アドバイスをいただきました。また、各クラブからの様々な要望にも真摯にお答えをいただき、大変充実した懇談会となり、時間が足りなくなるほど活発な意見交換がされました。

例会は、4RC合計124名が迎える華やかな雰囲気の中、田中ガバナー・榊原地区幹事の入場で始まりました。卓話では、本年度RIテーマ「Engage Rotary Change Lives (ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を)」、ガバナー方針「磨いて輝こう」を中心に、ロータリーの歴史から現在のロータリーの活動まで多岐にわたる内容を、貴重な写真を含む多数のスライドを使い、わかりやすくお話していただき、大変有意義な内容でした。例会終了後には、ホストである当クラブに労いの言葉もいただき温かいお人柄がうかがえました。

今回の田中ガバナーの遠路のご訪問に感謝するとともに、ご出席いただきました皆様にお礼を申し上げて報告とさせていただきます。また、会場準備にあたり犬山RC様には、大変お世話になり、ありがとうございました。

開催日 2013年9月26日(木) **報告者** 名古屋丸の内RC幹事 加藤 久明

参加クラブ 名古屋丸の内RC(ホスト)・名古屋みなとRC

当日は、田中正規ガバナー、榊原勝俊地区幹事をお迎えして11時30分からの会長・幹事懇談会に続き、12時30分から合同例会を開催しました。会場は名古屋クレストンホテル9階の例会場と別室をご用意しました。ガバナーは、予想よりかなり早めにご到着されましたので、予定を前倒ししての懇談会となりました。冒頭に来年6月1日からのシドニー国際大会への参加要請を頂きました。両クラブ共に1日に行われる2760地区ガバナーナイトへの参加者のさらなる増員に努めることをお約束いたしました。国際大会への参加は「ロータリーの本質がわかる」と言われているそうです。また、参加者は退会しない、と言うありがたいジンクスもあるそうです。続いて、ファーストクラスイニシアチブ達成についてのお礼を述べられました。大変に誇らしく名誉あることと思います。また、規定審議会においての決議報告書に関するご説明を頂きました。クラブの1年の計画を四半期ごとに分けて、その成果や進捗状況を記述し確認する術も教わりました。例会では、ロータリーの歴史から、現在の重要な計画について、パワーポイントを利用して分かりやすくご説明を頂きました。田中ガバナーの情熱とユーモアを感じられる有益なひとときを過ごすことができました。どうもありがとうございました。



開催日 2013年9月27日(金) **報告者** 安城RC幹事 神谷 研

参加クラブ 安城RC(ホスト)・三河安城RC

9月27日(金)に田中正規ガバナーと榊原勝俊地区幹事をお迎えし、安城RCと三河安城RC合同でガバナー公式訪問を開催しました。

合同例会前に開催された会長幹事懇談会では、2クラブより7月1日以降行ってきた各クラブの活動報告と本年度の活動方針・活動計画について報告し、田中ガバナー並びに榊原地区幹事より貴重で適切なアドバイスや温かい言葉を頂戴しました。

合同例会は、安城RC都築雅人会長の点鐘と歓迎のあいさつで開会しました。田中ガバナーより冒頭、安城RCに対しては昨年度の地区大会のホストを務めたことに対し謝辞をいただき、三河安城RCに対しては今年度創立15周年を迎えることに対しお祝いの言葉をいただきました。

田中ガバナーの卓話は、まず、ロータリーの歴史についてお話があり、続いて国際協議会について、RI戦略計画、3つの重点項目について、RIの強調事項と地区の重点項目とお話が進み、最後に、田中ガバナーが取り組まれた地区の改革についてと地区の方針である「磨いて輝こう」について語られました。ひとり一人が奉仕することで、自分自身もクラブも世界も幸せになります。どうかこの1年間、磨いて輝いてくださいと、卓話を閉められました。

最後に、三河安城RC寺部保美会長の謝辞で、ガバナー公式訪問の日程が無事終了しました。なお、当日、安城RCは米山記念奨学会の「4000万円達成クラブ」として感謝状を田中ガバナーより授与されました。大変に名誉なことでした。



ガバナー公式訪問 ⑤

開催日 2013年9月27日(金) **報告者** 中部名古屋みらいRC会長

参加クラブ 中部名古屋みらいRC

9月27日(金)、田中ガバナー・榊原地区幹事をお迎えして、懇談会並びにガバナー公式訪問例会を開催しました。今年度も当クラブの単独開催となり、お気遣いに感謝致します。

懇談会の場では、中部名古屋みらいRCの現状報告を会長エレクトよりさせて頂き、積極的な意見交換をさせていただきました。榊原地区幹事より、他のクラブにない職業の多様性を生かしたクラブになることができると期待している、田中ガバナーより、勇気を持って、他にはない独自のロータリークラブを作ればいい、とエールを送って頂きました。非常にわかり易いお話と大変熱心なご指導を頂きました。

例会の卓話では、ロータリーの歴史から始まり、田中ガバナーよりガバナー研修の大変さとその大切さをお話いただき、続いて本年度のロン・バートンRI会長の素晴らしいお人柄と方針“engage rotary change lives”についてお話いただきました。その後、ガバナー方針の“磨いて輝こう”と4つの重点項目について説明をされました。またシドニーの国際大会へ参加することの意味について丁寧にお話をいただきました。

私達、若いクラブにとって貴重なお話を聞くことができ、また勇気を与えて頂きました。大変充実した例会となりました。良い機会をいただき、ありがとうございました。



開催日 2013年9月30日(月) **報告者** 名古屋空港RC会長 内海 辰巳

参加クラブ 名古屋空港RC(ホスト)・名古屋城北RC・春日井RC

平成25年9月30日にキャッスルプラザホテルにて、田中正規ガバナー、柳原勝俊地区幹事をお迎えいたしまして、春日井RC、名古屋城北RC、そして私共の名古屋空港RCの3RC合同の公式ガバナー訪問を行いました。



例会に先立ち、11:30分より3RCの会長幹事懇談会を開催いたしまして各クラブより、現状報告を致しまして田中ガバナーよりご指導ご意見を頂きました。例会では、田中ガバナーより、ロータリーの歴史をスライドにて解りやすく説明があり、今年度RIのテーマ「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」そして地区テーマ「磨いて 輝こう」の説明をされました。

続いてRIの戦略計画、財団の夢計画の重点項目「クラブのサポート強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」を解りやすく話されました。地区で協賛されます、「公共イメージと認知度の向上」の一環でもある「ワールドフード・ふれ愛フェスタ」への参加要請もされまして、私共3RCも全員で参加して盛り上げたいと思っております。その後、2760地区の重点項目①会員の意識向上②クラブのパワーアップ③地区改革④会員増強のお話を分かりやすく説明していただきました。3RCの会員にとってロータリーを実感できる充実した例会になりました。ご指導有難うございました。

ガバナー公式訪問 ⑥

開催日 2013年10月1日(火) **報告者** 西尾RC会長 杉浦 明博

参加クラブ 西尾RC (ホスト)・西尾KIRARARC・西尾一色RC

10月1日、ガバナー公式訪問をいただき、大変うれしく思っております。

当日は大変天気も良く、“日本晴れ”の中で、田中ガバナー、榊原地区幹事をお迎えすることができ、光栄に、又、一安心をしております。

今回は、西尾一色ロータリークラブさん、西尾KIRARARCロータリークラブさん、西尾ロータリークラブとの3RC合同開催となり、150名余のメンバーさんにお越しいただき、一杯となった会場で、田中ガバナー、榊原地区幹事にお話を聞かせていただきました。

『磨いて、輝こう』のお話や、地区の改革、会員増強等々のお話、また、来年度に開催される、2014年シドニー国際大会のお話もありました。参加者数が増加する様に頑張りたいと思います。

また、地区の改革のご説明もあり、「守るべき伝統、改革するべき事例を明確にして、時代に合ったクラブ運営を」と説明がありました。

田中ガバナー、榊原地区幹事が就任後、期間の3分の1(4ヶ月)経過しましたが、ガバナー達のご多忙スケジュールはまだまだ続くと思います。

これからもマザークラブとして、田中ガバナー、榊原地区幹事をお支えしていきたいと思っております。



開催日 2013年10月3日(木) **報告者** 名古屋東山RC会長 早川 和男

参加クラブ 名古屋東山RC (ホスト)・名古屋和合RC・名古屋名東RC

10月3日(木)12時30分より、田中正規ガバナーと榊原勝俊地区幹事をお迎えしての公式訪問が、名古屋和合RC・名古屋名東RC・名古屋東山RCの合同でウェスティンナゴヤキャッスルにて開催されました。

ガバナー卓話では、2つの事項について話をされました。一つ目は「ロータリーの歴史」についてでした。ロータリークラブは1905年2月23日、「正直者が決して報われない」という暗黒の時代に、シカゴのユニティ・ビルの711号室でポール・ハリスら4名によって始められ、その後カーターの言葉により「世のため、人のため」ということを考えるクラブに変わっていったという創立の話。また、ロータリー財団が1917年に少額の寄付金から発足したこと、日本のロータリーは戦後1949年に復帰したことなどを話されました。

二つ目は「田中年度のロータリー」についてでした。ロン・バートンRI会長の本年度のテーマは、ロータリーの奉仕標語の一つである「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」という言葉と同じことを言っている、ということをお話いただきました。

最後に、シドニーでの世界大会に是非とも参加して欲しいという要望がありました。

とてもわかりやすいご説明で、出席者にとって、より多くのロータリー活動の知識を習得できる例会となりました。



開催日 2013年10月4日(金) **報告者** 津島RC幹事 寺島 淳一

参加クラブ 津島RC(ホスト)・あまRC

10月4日(金)、RI第2760地区田中正規ガバナー、榊原勝俊地区幹事をお迎えし、あまロータリークラブ、津島ロータリークラブの2クラブ合同でのガバナー公式訪問例会を名鉄グランドホテルにて開催しました。例会前の会長・幹事懇談会では田中ガバナーのお話に始まり、その後各クラブの本年度方針と現状について各会長より報告が行われました。特に今年度は津島ロータリークラブとあまロータリークラブが初めて合同で行う「近代海部郡誕生100年事業」の内容説明を重点的にを行い、田中ガバナーからも適切なご指導を頂くことができました。懇談会は田中ガバナーと津島ロータリークラブの鈴木会長が同級生ということもあり終始和やかな雰囲気の中終了しました。

例会での田中ガバナーの卓話は今年2月ガバナーエレクトとして参加された国際協議会のお話に始まり、今年度のRI戦略の重点項目や第2760地区の重点項目「会員意識の向上」「クラブのパワーアップ」「地区の改革」「会員増強」をわかりやすくご説明いただきました。また、国際ロータリーが創立された当時の珍しい写真を拝見し、ロータリーの歴史を感じることができ大変充実した例会でした。今回のご来訪に感謝申し上げます。ありがとうございました。



会長幹事会



田中ガバナーと
津島RC 鈴木会長



田中ガバナーと
あまRC 高山会長

開催日 2013年■月■日(■) **報告者** 豊橋南RC会長

参加クラブ 豊橋南RC(ホスト)・豊橋東RC・豊橋ゴールデンRC

第2760地区ガバナー田中正規様、地区幹事榊原勝俊様のお二人をお招きし、豊橋南ロータリークラブ、豊橋ゴールデンロータリークラブ、豊橋東ロータリークラブの3クラブ合同で開催しました。例会前のガバナー、地区幹事との会長・幹事懇談会では、大変参考となるご教示をいただきました。



例会の卓話では創立からのロータリーの歴史、1月の国際協議会の様子、RI会長ロン・D・バートンさんのご紹介のお話をいただきました。

今年度のRIテーマ「ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES(ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を)」を田中ガバナーは「ロータリーに積極的に参加し、自分と周りを磨き上げ、輝かしい人生に変えていこう」と理解しましたと話されました。

今年度のRI戦略である「クラブサポートの強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」、そして重点項目である「公共イメージと認知度の向上」「イメージとブランド認知の調和」「行動を主体とした奉仕活動の推進」「中核となる価値観の強調」「職業奉仕の協調」に関して、一つ一つ丁寧にご説明をいただきました。

また強調事項の「会員の増強」「ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実」「ロータリー・ファミリーを通じたネットワークの充実」、最後に2760地区の重点項目について「会員意識の向上」「クラブのパワーアップ」「地区の改革」「会員増強」について分かり易くご説明いただき、会員にとって大変充実した例会になりました。



Rotary Youth Leadership Awards



ロータリー青少年指導者養成プログラム

第22回

2013～2014年度

RYLAセミナー 募集要項

2014年 3月22日(土)・23日(日)

会 場 愛知県美浜少年自然の家

テーマ 「輝いて生きよう」

サブテーマ 「感謝の心で」



※写真は第21回RYLAセミナーを使用しています。



RYLA セミナーのご案内 ②



Rotary Youth Leadership Awards



当日のプログラム(予定)

Program

22日 土

- 9:00** 登録受付
- 10:00** 開講式 点鐘
- 10:30** 基調講演
- 11:40** 昼食
- 12:30** グループワーク第1部
- 18:00** 夕食
- 19:00** グループワーク第2部
- 21:45** 講評
- 23:00** 就寝

23日 日

- 6:30** 起床
- 7:00** 朝の集い(奉仕活動)
- 8:00** 朝食
- 8:45** グループワーク第3部
- 11:30** 発表会
- 12:30** 学友会PR
- 13:00** 昼食
- 13:45** 閉講式
- 14:45** 点鐘 写真撮影

※セミナー期間中は、受講生・全ロータリアン共に飲酒は一切禁止いたします。
また、喫煙に関しましても所定の場所以外では宿泊部屋も含めて禁止ですのでご了承ください。

地区内クラブ青少年奉仕委員長会議

3月22日(土) 9:00集合

RYLAセミナー開講式・基調講演後
地区内クラブ青少年奉仕委員長会議開催いたします。



2013-14年度
国際ロータリーのテーマ
『ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を』

主 管／国際ロータリー第2760地区 ガバナー 田中 正規
主 催／国際ロータリー第2760地区RYLA委員会 委員長 谷山 芳和
ホストクラブ／常滑ロータリークラブ 会長 村田 聡
RYLAセミナー実行委員会 委員長 伊奈 一郎

事務局 常滑ロータリークラブ

〒479-0843 常滑市多屋字茨廻間1-111
JAあいち知多農業協同組合 本部ビル1F
TEL(0569)34-8698 FAX(0569)34-9490
<http://www.tac-net.ne.jp/~toko-rc/>
E-mail:toko-rc@helen.ocn.ne.jp



Rotary Youth Leadership Awards



テーマ設定趣旨 「輝いて生きよう」

Theme



国際ロータリー第2760地区
2013-14年度ガバナー

田中 正規

生きていくことはすばらしいことです。困難にくじけることなく勇気をもって生きてください。真の人間は、自分のために生きることだけでなく、人のために役立ったことで輝いてくるものです。

今年度の私たちの国際ロータリーのロン・バートンRI会長は『ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を』というテーマを掲げています。

私は「ロータリーに積極的に参加し、自分と周りの人々を磨き上げ、輝かしい人生に変えていこう」と理解しました。

感謝の気持ちで行動すれば争う事が少なく、周囲を幸せにする事ができ、人々の人生を豊かにします。

何より一番豊かになるのは、みなさんご自身の人生であると思います。

活動方針

高校生から30歳までの青少年を対象として、指導者および善良な市民としての資質を伸ばすことを目的とした活動を推進します。

事業内容として、青少年が、自分自身と社会・世界について新しい発見をすることができ、ロータリアンを模範として、倫理、奉仕、親睦の理念について学べるような機会を提供します。



発表会



グループワーク

※写真は第21回RYLAセミナーを使用しています。

対象受講者

高校生から30歳までの青少年

開催主旨

地区内から参加される若者が、現在の自分のおかれている立場や状況に気付き自身がなすべきことを考え、自らリーダーとして行動できるようになるための研修を行う。

登録料

14,000円(受講生分は各推薦ロータリークラブが負担)



Rotary Youth Leadership Awards



第2760地区RYLA委員会
委員長 谷山 芳和

RYLAの意義

これは、青少年の指導者育成プログラム計画に基づき、各クラブから推薦された青少年男女の皆さんの参加を要請し、当地区では毎年1回の割合でセミナーの方針を採用して、実践を致しているものであります。

勿論このロータリーの青少年活動の中で、これからの時代を担う若い人達に指導者としての資質を伸ばす場を与える、特別な目的をもったプログラムであると言うことでありますが、これに参加する皆さんが、この機会に親睦と友情を深めるための貴重なセミナーであることは申し上げるまでもございません。

地区RYLA委員会と常滑ロータリークラブが全力でサポートします。

RYLAとは

Rotary Youth Leadership Awards(ロータリー青少年指導者養成プログラム)の頭文字をとった略称。

1959年、オーストラリア、クイーンランド州の自治権獲得百周年記念委員会にイングランドのアレクサンドリア女王が臨席されたので、女王と同世代の青年たちを招き、語らいの場所を作ろうという計画が持ち上がり、このホストをプリンスベンロータリークラブが勤めました。この時の青年たちの素晴らしい姿を継続できないものかと考え、これを青少年育成の場にしようとしたのが始まりといわれています。

国際ロータリーでは、1971年に地域社会指導者として、また善良な市民としての資質を伸ばすことを目的に、青少年指導者育成プログラムとして位置づけ、1976年には日本でも始められました。

また、愛知県では1993年岡崎市で第一回が開催され、以降毎年開催され今回22回目となります。RYLAの大きな特徴は、ロータリーファミリーを含めロータリーに関係のないところからも青少年を集め、ロータリークラブ会員が共に過ごし、指導力の育成とともに奉仕の精神を伝え、友愛を深めるところにあります。

RYLAセミナー開催場所



愛知県美浜少年自然の家

〒470-3236
愛知県知多郡美浜町大字小野浦字宮後1-1
TEL 0569-88-5577
<http://www6.ocn.ne.jp/~mihama/>

美浜少年自然の家



アクセス

電車

名鉄知多新線 内海駅下車
内海駅からシャトルバス
※シャトルバスの詳細時刻は
後日お知らせします

自動車

名古屋から約50km
知多半島道路→南知多道路
南知多I.Cから約20分

広報委員会の

よもやま話

No.16

[第2760地区広報委員会]

委員長:尾本 和弘(名古屋東南) 副委員長:佐久間 武美(雑誌)(豊橋北) 池森 由幸(Web)(名古屋千種) 田中 粹人(管理)(豊川)

委員:岡田 邦義(岡崎) 堀尾 明史(尾張中央) 堀田 力男(津島) 松崎 美都子(名古屋守山) 城野 八代江(名古屋駅)

志水 ひろみ(春日井) 坂野 弘(岡崎東) 糸井 学(名古屋みなと) 杉浦 令淑(名古屋大須) 平野 好道(名古屋瑞穂)

「投稿にチャレンジしてみませんか」

「ロータリーの友」を見る機会が増えました。私は今までは斜め読みをし、気に入る記事があるとそこを読み、また次の記事を探す読み方をロータリアンの皆様もしていませんか?

「ロータリーの友」をよく見ると、表ページと裏ページとがあります。見てみると表ページは横書きで書かれ、裏ページは縦書きで書かれています。疑問を抱いている方がいるのかも知れませんが、表ページ横書きはR Iからの記事(英文を含む)、日本ロータリーからの記事が主に記載され、裏ページの縦書きは国内ロータリークラブ、ロータリアンからの記事が書かれています。

7月号の表ページから読み始めると国際ロータリー新会長 Ron D.Burton の紹介、方針、家族紹介写真が掲載されています。翌月号からR I会長メッセージ、〇〇月間の記事掲載が号数を重ねていきます。裏ページは「友愛の広場」「バナー自慢」「卓話の泉」「ロータリー俳・歌・柳壇」「ロータリー・アット・ワーク」「内外よろず案内」に分かれ記事が掲載されています。

9月号を見ていると投稿募集が載っていて、表ページを飾る写真、2014年5月、6月号の表紙の写真募集記事が書いてあります。一度皆さんもチャレンジしてみませんか? 当地区のロータリアンが投稿をされた写真が2013年8月号、11月号に採用されています。お手持ちの写真はありますか? 横書きページはロータリーをよく知る方が〇〇月間に合わせて投稿してみてください。800、600、400文字の記事掲載があります。長文での記事掲載は難易度が高いと思います。手始めに「掲示板」はどうですか? 必ず掲示されます。「内外よろず案内」はロータリーのイベント性が高ければ掲載されます。「ロータリー俳・歌・柳壇」はやはり達人の方が対象でしょうか、私が投稿をするなら「ロータリー・アット・ワーク」をターゲットにしたいと思います。「ロータリーの友」の読者が判れば良いと思えば長文はいりません。写真と紹介文100文字、150文字、200文字から始めたらどうでしょうか? ページの隙間を埋めるための記事狙いも意外に採用されると思います。また写真ですが参加者の集合写真が良いと思われがちですが、主人公の居ない作業風景、イベントを眺めている人、本人のバックにテーマが写っている写真が良いと思います。写真を縮小してもテーマが判る写真が良い、後はイベント終了後に速やかに投稿して下さい。9月号掲載の「リスボン国際大会を振り返って」に広報委員会から松崎委員が投稿をしました、最初は1300文字で本人は考えていましたが、800文字での投稿基準に修正して採用が決まりました。写真も本人が楽しく写っている写真が採用されています。最後に、掲載希望〇〇月号の3ヶ月前に投稿をして下さい。中部経済新聞社への掲載依頼はロータリー担当の伊藤博記者にご連絡をください。





会員数及び出席報告 (平成25年9月末)

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	9月 出席率
		2013年 7月1日	2013年 7/1女性	2013年 9月末日		9月	累計	9月	累計		
南尾張分区	半田	61	3	64	4	1	4	1	1	4	98.24%
	常滑	40	0	41	0	0	1	0	0	4	96.67%
	東海	47	1	52	1	0	5	0	0	4	99.03%
	東知多	20	1	20	1	0	0	0	0	4	78.98%
	半田南	37	1	37	1	0	0	0	0	4	95.14%
	知多	28	2	28	3	0	1	0	1	3	81.05%
	大府	18	1	18	1	0	0	0	0	4	80.31%
	7RC	251	9	260	11	1	11	1	2		89.92%
西尾張分区	一宮	86	1	92	1	2	6	0	0	4	97.72%
	津島	67	4	68	4	1	1	0	0	4	98.00%
	尾西	21	1	21	1	0	0	0	0	3	96.83%
	一宮北	40	2	40	2	0	0	0	0	4	96.42%
	稲沢	56	0	56	0	0	0	0	0	4	91.31%
	あま	79	2	80	2	0	1	0	0	3	100.00%
	名古屋清須	27	0	29	1	0	3	0	1	4	94.33%
	尾張中央	33	0	33	0	0	0	0	0	4	88.49%
	一宮中央	42	7	44	7	1	2	0	0	4	92.49%
東尾張分区	9RC	451	17	463	18	4	13	0	1		95.07%
	瀬戸	62	5	62	5	0	0	0	0	4	95.88%
	犬山	59	1	60	1	0	1	0	0	4	100.00%
	江南	48	1	48	1	0	0	0	0	4	94.49%
	小牧	25	1	28	1	0	3	0	0	4	88.22%
	春日井	51	2	54	2	1	4	1	1	4	96.72%
	尾張旭	25	1	27	1	0	2	0	0	4	97.22%
	名古屋空港	53	1	54	1	0	1	0	0	3	99.36%
	瀬戸北	70	8	70	8	0	0	0	0	4	100.00%
西名古屋分区	岩倉	16	1	16	1	0	0	0	0	4	96.88%
	名古屋城北	31	4	33	4	0	2	0	0	4	96.57%
	愛知長久手	20	5	21	5	0	1	0	0	4	91.67%
	11RC	460	30	473	30	1	14	1	1		96.09%
	名古屋	185	0	191	0	1	7	0	1	4	89.31%
	名古屋西	92	0	96	0	0	4	0	0	4	89.94%
	名古屋南	117	0	118	0	0	1	0	0	4	96.56%
	名古屋みなと	68	0	69	0	1	1	0	0	4	100.00%
	名古屋東南	81	7	86	7	0	5	0	0	4	89.19%
西三河分区	名古屋中	133	0	134	0	2	3	1	2	3	98.63%
	名古屋瑞穂	64	0	64	0	1	1	0	1	4	96.32%
	名古屋大須	62	7	64	7	0	2	0	0	4	88.39%
	名古屋栄	78	0	84	0	2	6	0	0	3	90.81%
	名古屋名南	55	7	56	7	0	1	0	0	4	91.65%
	名古屋名駅	80	6	85	7	1	7	2	2	4	98.78%
	名古屋丸の内	41	4	43	5	1	2	0	0	4	94.84%
	中部名古屋みらい	24	7	24	7	0	0	0	0	4	48.96%
	13RC	1,080	38	1,114	40	9	40	3	6		90.26%

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	9月 出席率
		2013年 7月1日	2013年 7/1女性	2013年 9月末日		9月	累計	9月	累計		
東名古屋分区	名古屋北	91	0	93	0	2	2	0	0	3	95.53%
	名古屋東	83	0	86	0	0	3	0	0	3	91.30%
	名古屋守山	49	2	49	2	0	0	0	0	4	78.05%
	名古屋和合	103	0	104	0	1	1	0	0	4	88.26%
	名古屋名東	61	8	62	8	0	1	0	0	3	91.85%
	名古屋名北	37	4	37	4	0	0	0	0	4	99.26%
	名古屋千種	36	2	40	3	1	4	0	0	4	96.45%
	名古屋昭和	51	1	54	1	0	3	0	0	3	97.12%
	名古屋錦	33	10	33	10	0	0	0	0	4	87.38%
東三河分区	名古屋東山	33	4	33	4	0	0	0	0	4	95.31%
	名古屋葵	20	0	20	0	0	1	0	1	4	71.25%
	名古屋アイリス	33	12	33	12	0	0	0	0	4	87.12%
	12RC	630	43	644	44	4	15	0	1		89.91%
	豊橋	118	3	119	3	0	1	0	0	4	94.20%
	蒲郡	57	0	60	0	0	3	0	0	4	90.42%
	豊橋北	77	4	79	4	0	2	0	0	4	97.31%
	豊川	71	1	72	1	0	1	0	0	4	97.65%
	田原	45	1	46	1	0	2	0	1	4	93.13%
西三河分区	豊橋南	58	0	56	0	0	0	1	2	3	95.97%
	新城	44	1	44	1	0	0	0	0	4	83.36%
	渥美	32	0	33	0	0	1	0	0	4	83.34%
	奥三河	15	3	15	3	0	0	0	0	3	90.48%
	豊川宝飯	57	3	56	3	0	0	1	1	4	97.05%
	豊橋ゴールデン	63	1	66	2	0	3	0	0	4	99.18%
	田原パシフィック	49	2	50	2	0	1	0	0	4	89.17%
	豊橋東	43	0	42	0	0	0	1	1	4	100.00%
	13RC	729	19	738	20	0	14	3	5		93.17%
西三河分区	岡崎	81	3	83	3	0	2	0	0	4	99.68%
	豊田	85	0	88	0	0	3	0	0	4	98.48%
	岡崎南	95	2	96	2	1	2	1	1	4	98.87%
	豊田西	96	1	96	1	0	1	1	1	3	96.56%
	岡崎東	60	0	61	0	0	1	0	0	4	96.48%
	豊田東	73	0	76	0	0	3	0	0	4	94.62%
	岡崎城南	72	0	73	0	0	1	0	0	4	95.30%
	豊田三好	21	0	21	0	0	0	0	0	3	86.48%
	豊田中	42	6	43	6	0	1	0	0	4	97.51%
西三河分区	9RC	625	12	637	12	1	14	2	2		96.00%
	刈谷	95	4	97	4	0	3	1	1	3	100.00%
	安城	58	4	59	4	0	1	0	0	4	89.85%
	西尾	75	2	75	2	0	0	0	0	4	98.05%
	碧南	63	3	66	3	0	3	0	0	4	86.89%
	西尾一色	29	0	28	0	0	0	0	1	4	92.15%
	高浜	34	2	34	2	0	0	0	0	4	100.00%
	知立	61	0	64	0	2	3	0	0	4	100.00%
	西尾KIRARA	58	1	58	1	0	0	0	0	4	100.00%
西三河分区	三河安城	63	6	64	6	0	1	0	0	4	98.04%
	9RC	536	22	545	22	2	11	1	2		96.11%

	クラブ	平均
平均出席率	83	93.32%

地区内クラブ数 83RC	2013年7月1日会員数	4,762名	内女性190名	増加会員数(累計)	132名
	9月末会員数	4,874名	内女性197名	減少会員数(累計)	20名
	当月平均出席率	93.32%		差引純増会員数(累計)	112名

9月	入会	退会	純増
	22名	11名	11名



ロータリーチャリティイベント

World Food + Fure-i Festa ワールドフード+ふれ愛フェスタ

11月3日は『文化の日』。名古屋の中心、
久屋大通に世界のFoodと物産が集まって、
世界の文化を楽しみましょう！

期間 2013/11/2(土)・4(祝) 3日間

時間 10:00～17:00まで

場所 名古屋・栄 久屋大通公園
もちの木広場(名古屋テレビ塔下から錦通りまで)



主催 国際ロータリー第2760地区 ワールドフード+ふれ愛フェスタ実行委員会

協賛 国際ロータリー第2760地区(愛知県)全83ロータリークラブ

HP <http://www.rotary2760.org/g13-14/>

後援 名古屋市、中華人民共和国駐名古屋総領事館、在名古屋韓国総領事館、在名古屋カナダ総領事館、
在名古屋ブラジル総領事館、在名古屋ペルー共和国総領事館、在名古屋カンボジア王国名誉領事館

西尾市岩瀬文庫 《歴史的にも貴重な建物》



▲煉瓦造り地上3階、地下1階の書庫

◎国の「登録有形文化財」に

西尾市亀沢町に西尾市岩瀬文庫の煉瓦作りの「書庫」と洋風木造瓦葺きの「おもちゃ館」が、国の文化財保護審議会から「登録有形文化財」の指定を受けた。

歴史的にも貴重な建物として認められたもので、西尾市が全国に誇る文化遺産が、新たな視点で脚光を浴びたことになる。

この岩瀬文庫はその建物だけでなく、8万冊余といわれる蔵書もまた貴重な文化財である。蔵書は、歴史、国文学、本草（博物学）、宗教、美術などの広い分野にわたる。国の重要文化財である「後奈良天皇宸翰般若心経」、県指定文化財の「紺紙金字長寿王経」「安芸白井家文書（大内家文書）」、また「住吉物語」など奈良絵本、中国の古書などなど、その蔵書の内容は世界的にも高く評価されている。



▲岩瀬弥助の銅像

◎岩瀬弥助が独力で創立

岩瀬文庫は、西尾市須田町で肥料商を営んでいた市内屈指の資産家、岩瀬弥助（1867～1930）が独力で創立した。

岩瀬弥助は肥料商のほか、すぐれた経営感覚で、金融、鉄道、電力、紡績などに幅広く投資、時流に乗ってますます資産を殖やした。31歳の若さで西尾町長に就任、地域の文化向上にも尽力し、学校設立や文化のために巨額の寄付をしている。

岩瀬弥助が文庫の開設したのは明治41年5月。2,000坪の敷地に定員50人の閲覧室・製本室・収容人員300人の会堂をもつ本館と、土蔵造りの2階建ての書庫を建てた。

当初は2万7千冊だった蔵書も年々増え、その後、現在残っている煉瓦造り地上3階、地下1階建ての書庫を大正8年頃に建築。当時としてはモダンで、内部の各階の床板には約2cmのすき間を設け、湿気を除去する工夫がなされている。今のおもちゃ館である児童館は大正14年頃に建てられた。

周囲は樹木に囲まれた公園として、市民の憩いの場になっている。



▲おもちゃ館